

高橋系子 竹早教員保育士養成所
大貫秀明 駿河台大学

1. 緒言

既報の発表で、からだを子どもに同調させることでより奥ゆきのある寄り添いが可能になるのではないかと考え、「承認的なぞり」あるいはリズムを同調させる意味での「呼吸の盗み」の有効性をさぐり、またそれを実現するため、ダンスワークをベースにすることを提唱した。加えて保育士志願学生たちの現場での「寄り添い」のからだの現感覚を掴んだ上でダンス学習の手法を用い「寄り添い」のための一資料の提供とする。

2. 方法

現場での「寄り添い」の実態・状況についてアンケートを通して把握する。それにより得られたからだの行為を取り上げてダンス学習として授業で練習後、現場で応用実践した結果をアンケートや聞き取りにより調査する。

3. 寄り添いの成立

存在する人間同士(保育者-乳幼児)のからだの動きや距離感に加えて場が共有できること、時のタイミングを機に、心が伴い共感に向かうことが成立要素となる。言葉の獲得の不十分な乳幼児にとっては非言語の手段としてからだのサインを読み取り呼吸とともにからだを同調させることは寄り添いのきっかけづくりとなる。

4. 保育専攻学生が語る「寄り添い」の成否

寄り添いの中核となる行為を知るためにアンケートを実施した(n56)。質問と主な回答は表のとおり。それらの回答より、読み取れたことを以下に示す。

- ① 寄り添えたと思った時の状況
一緒にいられたなどの言葉から場や空間を共有している状態ができたと思われる。
- ② 寄り添い不全を誘発する諸要素
緊張があり、距離が縮まらない。乳幼児が様子をうかがったり、じっと見ているということは近づいて大丈夫かどうか安心・安全である存在かを観察・吟味している時間とも推察される。
- ③ 子どもが近寄った時のからだの変化、兆し、心地
乳幼児、保育専攻学生ともに「開放感」や「あったかい」という言葉がみられた。緊張から解き放された事や安心感が生まれ、距離感が縮まることが推測された。

寄り添いのきっかけとして距離を縮めるために、安心感を示すことや興味のある遊びなどで乳幼児の信頼を得、緊張を解放し自然な同調を生じさせることも有効と思われた。

表:「保育専攻学生の乳幼児の寄り添いに関わる調査」(n56)

Q.子どもに「寄り添えた」と思った時はどんな時ですか
A.一緒にいられた 近づけた 目をあわせた
Q1. 実習中、子どもが近寄ってきてくれないなど関わりがうまくできないと思ったことはありますか。 <有>の人はその時の様子を書いてください。
A1-1.<有>29名 <無>27名 A1-2.近寄るが離れる、様子をうかがっている、警戒
Q2.近寄ってきてくれない時、あなたはどんな気持ちになりましたか。
A2.悲しい、仲良くなりたい 時間が必要
Q3.その時のあなたは自分のからだやしぐさに何か違和感を感じましたか? また、その子どもにからだ・しぐさにおいて何か特徴的なことを感じとりましたか。
A3.あなた: 緊張、作り笑顔 こども: 緊張、じっとしている、からだが固くなっている
Q4. 近寄ってきてくれなかった子どもは近づいてくれましたか Yes 22名 No 4名 未回答 3名
Q5. 4.の問いでYesの人にうかがいます。 何をきっかけに近寄ってくれたと思いますか。あなた自身の変化か子どもの変化か分けて考えてみてください。またその他きっかけがあれば記入してください。
A5.あなた: 声をかけ続けた、他の子と遊んだ 笑顔 その子が好きなもので遊ぶ こども: 抱っこをねだってきた 近寄ってくれた
Q6. 近寄ってきてくれた時どんな気持ちになりましたか。
A6. うれしかった あたたかくなった
Q7. その時のあなたや子どものからだの感じはどんなでしたか
A7. あなた: あったかい、ゆるやか、開放的 こども: ゆるやか、あったかい、開放的

5. ダンス学習にみる保育技術の中核的要素

中核となる行為、からだの兆しを取り出し、子どもとの関係づくり(寄り添い)に応用できる技術を実践してみる。

看護・介護では「ユマニチュード」というケアする側のされる側へのケア技法が普及している。「1. 話す 2. 見る(相手の視野・視線に入る) 3. 触る(どこをどのように) 4. 立つ」の4つの柱からなる。からだの行為と保育との関連性およびアンケートより「2. 見る 3. 触る」を取り出す。ダンスでは「2. 見る」に対応するものとして「視線・スポット」、「3. 触る」に対応するものとして「コンタクトワーク」がある。これらを保育専攻学生に実習前に練習を施し、現場での実習の中で乳幼児に近づくと、触れる時などの参考としてもらい、その後アンケートや聞き取りで「寄り添い」への効果を確認する。

6. まとめ

<参考文献>

「ユマニチュード入門」2018 本田美和子
イヴ・ジネスト ロゼット・マレスコッティ
医学書院